

水稻作付者 各位

ながさき西海農協 小値賀支店

稲作情報 2

本年のコシヒカリは、好天に恵まれ前進化しており、草丈、茎数、葉数とも平年並みの生育となっています。

4月15日の田植えで、出穂期は7月10日ごろとなっており
穂肥の時期が7月1日ごろとなっています。

病害虫については、いもち病の発生が確認されています。

栽培管理

穂肥時期の判断

親株を抜き茎の基部をカミソリで割り幼穂長の長さを確認して穂肥時期を決める。

穂肥量の判断

葉色板(カラースケール)より判断 葉色が濃い場合は、時期を遅らせるか穂肥量を控えて下さい。(営農ごよみ 17ページ 穂肥を参考)

生育後半の水管理

穂ばらみ期まで間断灌水をおこない、出穂開花期は灌水状態を保つように水管理をおこなう。(営農ごよみ 18ページ 生育後半の水管理を参考)

病害虫 いもち病 キタジンP粒剤 (3kg/10a)

お知らせ(役場産業振興課農林係より)

●電気柵等の管理について

イノシシによる水稻の被害の多くは、乳熟期になります。出穂からおよそ10日後には乳熟期となりますので、その前に防護柵の自己点検を行いましょう。特に電気柵は電線が草に接触していると電気が通りにくくなりイノシシへの効果が薄れてしまいますので適正な管理をお願いします。

イノシシ対策は地域全体で取り組むことが一番効果的です。集落で協力し合って農作物への被害をなくしましょう。